

						A	優	良	
						B	良	好	
						C	課	題	含
						D	要	改	善
施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課				
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	老人福祉法や川西市の条例に従い、健康や生きがいづくりに関する講座などを開催しました。 そして、18グループある趣味の会の活動支援を通じて、市内の60歳以上の方々を対象に健康の増進、教養の向上を図りました。 また、引き続きコロナ禍においてグループ活動等の日程や時間調整を柔軟に行い、施設を最大限に有効活用しました。	A	施設設置の目的に沿って、体操や囲碁など心身の健康増進、教養の向上など施設を最大限に活用できるよう対応しています。	意見なし			
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	初回利用時には、身分証明書を提示していただき、年齢と川西市在住の確認を行い、施設利用と登録について詳しく説明を行いました。 また、趣味の会の入会希望者の場合、新規利用であるか確認を行い、新規であれば上記の手続きを行いました。	A	初回利用時や趣味の会入会希望時に、身分証明書を確認するなど、適切に対応しています。	意見なし			
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。		A	自主事業については、市の広報誌に掲載するとともに、チラシを作成し、直接利用者に案内して参加の呼びかけを行いました。 下半期から主催事業が実施できたため利用者数は増加しました。	A	利用者増につながるよう市の広報紙を活用しPRを行うなど、施設の周知広報活動を行っています。	意見なし			
< 課 題 >		新規登録者は、47人で内7割が女性です。 前年度と比較し、若干、男性の比率が増加しましたが、60歳代の登録は5人で、引き続き60歳代及び男性利用者の登録が少ない状況です。		利用者の高齢化や新規利用者の減少が課題となっています。		意見なし			
< 改善内容 >		新型コロナ感染拡大防止のため、4月25日から5月11日の間が閉館となり、その後も、自主事業やグループ活動の利用制限等がありましたが、その都度、迅速に活動の可否をお知らせし、施設を有効活用できるよう努めました。 また、継続して内部監査が行われ法令遵守に努めています。		新型コロナウイルスの影響により、中止になった事業やグループ活動の制限もありました。感染予防対策を行いながら、引き続き広報活動を行い、利用者の増加を図る必要があります。		意見なし			
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	主な個人利用者は、スカイウエル(電位治療器)、マッサージ機や血圧測定の利用者です。 18グループある趣味の会は、囲碁や将棋、カラオケなどの文化的なものから、卓球、体操など体育的なものなど多岐にわたり、高齢者の健康の増進、教養の向上が図られました。	A	健康機器の設置を通じて、健康増進を図る場として適切に機能しています。 さらに多様な趣味グループの活動支援を通じて、利用者の教養向上を図る場として、有効に機能しています。	意見なし			
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	下半期から主催事業の開催が可能となったため、定期講座として、新たに「護身技法健康体操」を開催するなど利用者の健康志向のニーズに応えました。	A	利用者のニーズや傾向を踏まえ、新たな定期口座を開催するなど、柔軟に対応されておられ、工夫が見られます。	意見なし			
< 課 題 >		地域の高齢化に伴い、利用者の高齢化が進み、趣味の会グループの会員数も減少傾向にあります。 減少傾向は、長引くコロナ禍の影響もあると考えられます。		趣味の会の高齢化から、継続困難で解散となったグループもあり、グループの会員数が減少傾向にあります。		意見なし			
< 改善内容 >		コロナ禍で施設内での食事が出来ないこともあり、変則的な時間で部屋をお貸しするなど、利用者の要望に柔軟に対応しました。(3月22日から屋内飲食可) グループの代表者には利用が可能になった場合はすぐに連絡をして翌日から利用してもらうようにしました。		感染症対策を行いつつ、趣味の会等の会員の増や施設利用者数の増を目指し、ニーズの高い講座の開催や地域との連携など検討をお願いします。		意見なし			
(1-3) 利用者の満足度		A		A		(1-3) 利用者の満足度			
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。		A	3月14日から24日の延べ9日間、個人利用やグループ活動等で来館された方々に無作為にアンケート調査を実施しました。	A	毎年定期的にアンケートも実施され、ニーズの把握に努めています。	意見なし			
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。		B	アンケートのほとんどは「気持ちよく利用できた」、「良い時間が過ごせ満足です」等のお声をいただきました。 また、「コロナ禍ではあるが何か行事をして欲しい」との意見がありました。	B	アンケートでは、施設に対する高い満足度が記載されるなど、良好なサービス提供体制が推察されます。	今後もアンケートの結果をふまえ、利用者のニーズに沿った講座等の実施に努めること。			
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。		A	趣味の会グループから「会員全員がワクチン接種したので部屋の人数制限なしにできないか」との意見がありました。 ワクチン接種が利用制限解除の条件になっていないことを丁寧に説明しました。	A	要望に対して迅速に対応されるなど利用者の信頼につながる適切な対応をしています。	意見なし			
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		A	日常から利用者には声掛けを行い、コミュニケーションをとることで、利用者のご意見を引き出すよう努めています。 また、意見箱を設置していますが、投函はありませんでした。	A	日頃から利用者に声かけを行い、利用者の意見やニーズの把握に努められています。	意見なし			
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。		A	趣味の会グループの会合や懇親会に場所を提供し、地域活動の場所として利用していただきました。	A	講座等のみならず、地域の団体と連携するなど、地域の活動拠点としての取り組みを進めています。	意見なし			

施設名		川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	A	優	良
							B	良	好
							C	課	題
							D	要	改
区 分			指定管理者自己評価結果 〔指定管理者記入欄〕		指定管理者一次評価 〔市所管記入欄〕		指定管理者二次評価 〔外部評価者記入欄〕		
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
< 課 題 >			コロナ禍で令和2年度、3年度と2年間、「敬老のつどい」、「カラオケ大会」の事業が中止となりました。利用者も楽しみにされてますので、感染状況を見ながら開催を検討する必要があります。		新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が中止となった時期もあり、高齢者の生きがいや健康づくりの機会の減少が懸念されます。		意見なし		
< 改善内容 >			健康器具(スカイウェル、マッサージ機、血圧計) について、新型コロナ感染症拡大防止対策として別々の部屋に設置し、都度、移動していただいてましたが、パーティションを設置するなど感染防止対策を講じて1つの部屋に集めたことにより、利便性が向上し利用者から喜ばれました。 また、課題であった駐車場について、4月から市が暫定的ではありますが確保していただき利用者の利便性が向上しました。		可能な限り感染症対策を行いながら、高齢者の健康や生きがいづくりにつながる事業を継続していく必要があります。		意見なし		
2 効率性の向上に関する取組み 〔効率性〕			A		A		2 効率性の向上に関する取組み 〔効率性〕		
(2-1) 経費の節減			A		A		(2-1) 経費の節減		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。			A	水道光熱費については、年間を通じて職員各自が意識して節減に取り組んでいます。利用者がいない時間は、常に部屋の照明を消し冷暖房を入れないようにしています。 また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、退室時の消灯や空調のスイッチを切るなどの協力をお願いしています。	A	経費節減に対して職員ののみならず、無理のない範囲で利用者の協力を得ながら積極的に取り組んでいます。	意見なし		
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。			A	職員は、常に経費の節減を意識して、修理や物品購入時は、相見積りにより安価な業者に委託しています。	A	経理規定に沿い、高額商品購入時の合い見積もりなど適切に対応されています。また消耗品等の購入も安価な業者に依頼するなど徹底しています。	意見なし		
< 課 題 >			建物は37年が経過し、老朽化が進行しています。今後は修繕箇所の増加が見込まれます。安全面など、必要に応じて川西市と協議しながら改修等に取り組めます。		修繕については、適切な施設管理の中で問題点を把握し、計画的に進める必要があります。		意見なし		
< 改善内容 >			壁紙や床ビニールシートの剥がれなど部分的で簡易なものは職員で修理しました。 感染防止対策のための消毒液、ペーパータオルの使用量が不明であったため毎月記録することで年間の使用量を把握しました。		引き続き、軽微な修繕については予算の範囲内で対応をお願いします。また、消耗品の使用料の把握など、職員各自でできる範囲の経費節減の取り組みをお願いします。		意見なし		
(2-2) 収入の増加			評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加		
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
収入の増加など取り組みの効果は得られたか。									
< 課 題 >									
< 改善内容 >									
(2-3) 収支のバランスなど			評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど		
収支のバランスは、適切であったか。									
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									

施設名		川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	A	優	良	
							B	良	好	
							C	課	題	
							D	要	改	
区 分		指定管理者自己評価結果 〔指定管理者記入欄〕			指定管理者一次評価 〔市所管記入欄〕		指定管理者二次評価 〔外部評価者記入欄〕			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
収支の内容に不適切な点はなかったか。										
< 課 題 >										
< 改善内容 >										
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み〔適正性〕		A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み〔適正性〕		
(3-1) 管理運営の実施状況		A			A			(3-1) 管理運営の実施状況		
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。		A	所長(児童センターと兼務)1人、事務員(児童センター兼務)1人の2名が配置されています。 事故防止や安全面、事務事業を円滑に運営するため、併設の児童センターとの連携協力を行っています。		A	併設のメリットを生かし、児童センターと協力しながら業務に取り組んでいます。		意見なし		
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		A	不審者対応講習、虐待研修を受講しました。		A	施設の特性に応じた内部研修のほか利用者対応に必要な講座に参加するなど、積極的に参加しています。		意見なし		
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。		A	修繕や物品購入については、相見積もりを取り、安価な業者を選んでいます。また、年に1回利用者アンケートを取り、サービスの質の向上に努めました。 また、季節に応じた感染症予防や食中毒予防、熱中症対策などのポスターを掲示し、健康に関する注意喚起を行いました。		A	常に経費節減に努められる一方で、利用者への配慮も行われています。		意見なし		
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。		A	日頃から、利用者に声をかけ、要望を聞き、室内レイアウト変更などを行いました。 また、退館時に靴の履き間違えがあったため、防止策として下足箱にクリップを設置し、希望者に利用してもらいました。		A	経費節減のみならず、利用者の視点に立った運営が必要です。今後も利用者本位を維持しながら良好な管理運営に努めてください。		意見なし		
< 課 題 >		事故防止や円滑な施設運営のため、児童センター職員と常に相互に連携し業務を行うことが必要です。			併設施設と連携を取りながら、サービス提供の質が低下しないよう配慮しつつ、より柔軟な人員配置に努めてください。			意見なし		
< 改善内容 >		今年度は、不審者対応講習、虐待研修を受講しました。 また、靴の履き間違え防止のため、下足箱にクリップを設置しました。			施設間での相互協力を通じて、利用者満足度の維持向上に努めてください。			意見なし		
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A			A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。		A	初回利用される時に、身分証明書で利用条件に合っているか確認し、登録していただいています。 また、内部監査の報告を職員で共有し、改善に努めています。		A	身分証などで本人確認を実施するなど、適切な手続きがとられています。また、内部監査の報告を職員で共有するなど、適切に取り組んでいます。		意見なし		
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。		A	個人情報に関しては、施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止しています。		A	個人情報を鍵付き書庫への保管を徹底するなど、適切に取り組んでいます。		意見なし		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。		A	転倒防止のため、廊下など動線上に障がい物を置かないよう、常に気をつけています。 併設施設の児童に1階の部屋を開放している時に利用者や児童の出会いがしらの衝突など事故を防止するため、声掛けと見守りを行っています。		A	子どもや高齢者などの利用者の特性に配慮し、注意喚起を行うなど、安全対策の徹底に取り組んでいます。		意見なし		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。		B	閉館後や休日の警備は、アルソックに委託しています。火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を年2回実施しています。 当センター(複合施設)では、再講習を受講した防火管理者の配置が必要ですが、人事異動により不在となっています。		B	休日夜間などの警備は専門業者に委託し、火災訓練は利用者と一緒に取り組むなど、適切な危機管理体制をとっています。		意見なし		
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。		A	事故発生時(ケガや体調不良)、非常災害時対応のマニュアルやヒヤリハットのノートの作成、新型コロナウイルス感染症対策の冊子等も回覧し職員が情報を共有しています。 また、「さすまた」を設置し、不審者対応講習を受講しました。		A	様々な場面を想定した対応マニュアルを整備されるほか、ヒヤリハットについても職員で共有するなどリスク管理に努めています。		意見なし		

		A		優 良			
		B		良 好			
		C		課 題 含			
		D		要 改 善			
施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会		所管課	福祉部 地域福祉課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		A	趣味の会には、利用の手引きを配布し、平等に部屋を利用できるよう説明し理解を得ています。個人の健康器具利用は、20分で交代するよう、タイマーで電源の設定を行っています。		A	日程調整やタイマーでの健康器具対策など、利用の平等性に配慮して対応がとられています。	
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。			非該当			—	意見なし
< 課 題 >		再講習を受講した防火管理者が人事異動により不在となっているため、現在の防火管理者が、令和4年度中に再教習を受講する必要があります。 また、新たに地震発生時のマニュアルの作成が必要です。			安全な施設利用の観点から地震発生時の施設運営についてマニュアルの作成が必要です。		意見なし
< 改善内容 >		年に一度、社協本部によって法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などの監査を受け、問題があればその都度改善し、適正に施設運営を行っています。			防火管理者の講習受講や地震発生時のマニュアル作成などの改善内容について、適宜市に報告するとともに、必要に応じ協議をお願いします。		意見なし
総 合 評 価		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク		A			A		
・評価できる内容		コロナ禍において、部屋の人数制限や施設内での食事禁止など様々な利用にあたっての制限がされた中、活動グループ等の要望をお聞きし、日程や時間調整を柔軟に行い、施設の有効活用に努めました。			新型コロナウイルス感染症対策のため、自主事業の中止や活動制限を行った時期もありましたが、感染予防対策を行い、可能な限り、施設の有効活用に努められています。		意見なし
・令和3年度に改善した内容		別々に設置していた健康器具(スカイウェル、マッサージ機、血圧計)をパーテーションを設置するなど感染防止対策を講じて1つの部屋に集め、利用者の利便性の向上を図りました。 靴の履き間違い防止のため下足箱にクリップを設置しました。			引き続き、利用者や趣味の会の利便性の向上のため、柔軟な対応をお願いします。		意見なし
・令和3年度に改善したことによる効果		健康器具(スカイウェル、マッサージ機、血圧計) 1つの部屋に集めたことにより、利便性が向上し、利用者から喜ばれました。 退館時の靴の履き間違い防止としてクリップ設置後は、靴の履き間違いの申し出は発生していません。			引き続き、日頃から利用者に声かけを行い、利用者の意見やニーズを把握し、サービスの向上に努めてください。		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点		引き続き、会員数が減少するなど活動が困難になり解散となったグループが発生するなど利用者の高齢化により利用人数は減少傾向にあります。 また、マッサージ機、スカイウエルや血圧計利用の個人利用者も、利用者が固定化しており毎年減少しています。 障がい者用トイレは、建築当時のもので、古い便器に固定の手すりで、利用しづらい状況です。当センターは、一般の避難所にもなっているため、誰でも利用しやすい多目的トイレにする必要があります。			高齢者が関心ある講座・教室等を開催し、利用者の増加に努めてください。また、趣味の会のグループが活動しやすいよう支援するとともに、新たな趣味の会の設立に向けた支援も検討する必要があります。		意見なし
・改善方法とその時期		高齢者が関心ある講座・教室などを引き続き開催し、受講後にグループ活動化を支援し、利用人数の増加を図ります。 障がい者用トイレの改修については、令和4年度で改修できる予定です。			大規模な修繕工事については、優先順位を決めたうえで、計画的な修繕が可能となるように、日頃から不具合個所の適切な把握に努めるとともに、適宜市と協議しながら検討をお願いします。		様々な情報媒体を活用しながら、センターの事業を積極的にPRし、新規利用者の獲得に努めること。

【記入上の留意点】
(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。